

明中瓦版

発行 小中一貫校 彩和学園
富田林市立明治池中学校

4月号 発行日 令和4年4月8日

じっせんきゅうこう “*Let's Try!* 実践躬行 *MEIJIKE*” を方針として

校長 西田和弘

令和4年度がはじまりました。本校においては、新しいページの始まりとなります。小金台小学校と明治池中学校は、小中一貫校「彩和学園」として出発いたしました。令和2年度から学園開校に向けての準備を進めてまいりましたが、その過程の中で、学校協議会の委員の皆様、PTA本部役員の方々、地域の皆さん方から様々なご意見をいただき、ご協力をいただくことで彩和学園開校にたどり着くことができました。改めて皆様方の温かいご支援に深く感謝し、お礼申し上げます。ありがとうございました。

もちろん、我々教職員の目的は学園の開校ではなく、小中一貫教育という手段を最大限に活用し、子どもたちのより良い変容のために教育実践を行うことです。一言で申しますと、この令和4年度は、目的達成のための実践を着実にやっていくことであると考えています。

そこで、今年度の明治池中学校の経営方針のキーワードを以下のように決定いたしました。

じっせんきゅうこう キーワード “*Let's Try!* 実践躬行 *MEIJIKE*”

「実践躬行」には、「自分自身の力をしっかりと発揮し、その力で自らが行動を起こす」という意味があります。このキーワードを教職員はもちろんのこと、生徒たちにも覚えてもらい、「実践あるのみ」の精神で、積極的に充実した学校生活を過ごすための実践を日々行ってほしいと思っています。

彩和学園の「めざす子ども像」は「今と未来、社会でいきる自分らしさを」です。この学園名に込められた思いは、(彩)には一人ひとり違った個性を大切にし、(和)には小中学生や地域の方が仲良くなれる学園という思いです。

めざす子ども像の育成や学園名に込められた思いを達成・伝承していくために、学年段階をさらに細分化する「4・3・2制の導入」や、中学校教員が小学校の授業を担当する「乗入授業（算数、理科、家庭科）」、総合的な学習の時間を活用した「未来科の創設」、支援教育の充実や段差解消などを柱として掲げ、その達成をめざします。

われわれ教職員一同は、彩和学園としての協働をさらに進め、よりよい子どもたちの変容をめざしていきます。

今年度も本校教育推進にご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

“*Let's Try!* 実践躬行 *MEIJIKE*” を合言葉に！

彩和学園 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つなげる「共生」～